

令和3年度 第2回美浜区支え合いのまち推進協議会 議事録

1 日 時：令和3年11月25日（木）午後3時00分～午後4時00分

2 会 場：美浜保健福祉センター 4階 大会議室

3 出席者：

【委員】

長岡委員長、池田副委員長、相原委員、伊藤委員、加藤委員、金澤委員、久保田委員、小谷委員、小林委員、信太委員、鈴木委員、十川委員、高薄委員、直井委員、長瀬委員、中村委員、平野委員、別所委員、森委員

※25人中19人の委員が出席

【事務局】

美浜区：曾我辺美浜区長、大塚美浜保健福祉センター所長

美浜区高齢障害支援課：鈴木課長補佐、藤崎主査

千葉市社会福祉協議会美浜区事務所：金澤所長、山崎主任主事

美浜区健康課：石川課長

美浜区地域振興課地域づくり支援室：古屋室長

保健福祉局地域福祉課：佐藤主査、畠山主任主事

※傍聴人 0人

4 会議の概要

(1) 報告事項

令和3年度 第1回美浜区支え合いのまち推進協議会（書面開催）にかかる議案の報告について、事務局が資料1により報告を行った。

ア 委員長・副委員長の選任について

対面で開催ができなかったことから、各委員へ事務局案を提示し、各委員からご承認をいただき、委員長に長岡委員、副委員長に池田委員が選任された旨を報告。

イ 美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）の推進状況（平成30年度から令和2年度）について

事務局が取りまとめた「美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）」の推進状況（平成30年度から令和2年度）について、各委員からご承認いただいた旨を報告。

(2) 議題

- ・美浜区支え合いのまち推進計画（第5期美浜区地域福祉計画）の策定について
第1回書面会議での議題「第5期美浜区支え合いのまち推進計画（原案）」に対する各委員からの意見とこれに対する市（区）の考え方、また、これらの意見を基に修正した計画案を資料2及び資料3により説明した。各委員による協議の結果、修正した計画案をご承認いただいた。

5 会議経過

(1) 開 会

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 鈴木） 定刻となりましたので、始めさせていただきます。

皆様方には、ご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、高齢障害支援課の鈴木でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、「令和3年度第2回美浜区支え合いのまち推進協議会」を開催いたします。はじめに、開催にあたり、美浜区長の曾我辺よりご挨拶を申し上げます。

○事務局（美浜区長 曾我辺） 美浜区長の曾我辺です。

第2回美浜区支え合いのまち推進協議会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶申し上げます。

皆様には日頃より、区行政につきましてご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。また、この度は本協議会の委員の就任につきまして、ご快諾いただき、誠にありがとうございます。

千葉市の地域福祉計画、美浜区の支え合いのまち推進計画は、令和2年度が第4期計画の最終年度であったことから、昨年度に第5期の計画策定を予定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により会議の開催は困難と判断し、計画策定を1年延期としました。

本年度も第1回推進協議会を8月30日に予定しておりましたが、緊急事態宣言が出されていたことから、書面開催となったところです。

新型コロナウイルス感染症につきましては、緊急事態宣言が10月1日に解除され、現在は新規感染者も少なく落ち着いてきたところですが、第6波が懸念されていることから、ワクチンの3回目接種に向け準備を進めているところです。

新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えない状況であり、引き続き感染症対策が必要であると考えております。

本日は対面での会議となります。委員の皆様には、当協議会において忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、今後の皆様のご活躍とご健勝を祈念いたしまして開会の挨拶といたします。本日はよろしくお願いたします。

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 鈴木） ありがとうございます。ここで、曾我辺区長は所要のため、退席させていただきます。

< 区長退席 >

続きまして、本日の配布資料の確認をさせていただきます。

配布資料は、 次第、委員名簿、席次表、資料1として「令和3年度第1回美浜区支え合いのまち推進協議会（書面開催）にかかる議案の報告について」A4判の紙1枚でございます、資料2「第5期美浜区支え合いのまち推進計画に対する委員からの意見」こちらはA3判の閉じてあるもの、資料3として「美浜区支え合いのまち推進計画（第5期美浜区地域福祉計画（修正案）」、以上でございます。不足がございませんでしょうか。

ございましたら、事務局まで申し付け下さい。

よろしいでしょうか。

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 鈴木） 本日は、委員25名様中19名様にご出席いただいております。

なお、のちほど改めて報告をいたしますが、先日書面開催した第1回会議にて、委員長・副委員長の選任が議決されておりますので、本日の席次もその内容を反映したものととなっております。

まず、委員長に就任いただきました、美浜区町内自治会幸町第一中学校区の長岡 正明様からごあいさつをお願いいたします。

○長岡委員長 長岡です。委員として長くなりましたが、皆様のご協力を得て、また、池田さんにも助けていただきながら、努めてまいりたいと思いますので、皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

[各委員より拍手あり]

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 鈴木） ありがとうございます。続きまして、副委員長に就任いただきました、社会福祉協議会稲毛海岸地区部会の池田 孝子 様からも、一言ごあいさつをお願いいたします。

○池田副委員長 副委員長を務めさせていただきます、稲毛海岸地区部会の池田です。長岡委員長と一緒に皆様のご協力を得て活動していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

[各委員より拍手あり]

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 鈴木） ありがとうございます。
さて、今回は、改選後初めて対面で開催する会議ですので、事務局から席順に委員の皆さまをご紹介させていただきます。

<出席委員を席順に紹介>

なお、

社会福祉協議会 幸町一丁目地区部会 川畑利博 様、
美浜区町内自治会連絡協議会 幸町第二中学校区 田中利武 様、
美浜区町内自治会連絡協議会 打瀬中学校区 遠山孝行 様、
千葉県あんしんケアセンター磯辺 東村千栄子 様、
美浜区老人クラブ連合会 町田佳景 様、
社会福祉協議会 真砂地区部会 吉川英朗 様

は、所用のため本日ご欠席となっております。

また、美浜区町内自治会連絡協議会 磯辺中学校区 小谷 健 様は、遅れて到着する旨のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

委員数としましては、全部で25人、今回新しく委員にお迎えした方は11人となっております。

事務局職員の紹介につきましては、お手元の席次表にて代えさせていただきます。

続きまして、会議の公開についてですが、千葉県情報公開条例等の規定により本協議会の会議は公開となり、議事録は公表することとなっておりますので、あらかじめ御承知願います。

また、本日の会議について、後日美浜区支え合いのまち推進協議会だより等の広報誌の掲載のため、事務局の方で一部撮影をしております。プライバシーには十分配慮いたしますので、ご了解ください。

大変長らくお待たせいたしました。

それでは、ここからは、委員長に議事の進行をお願いいたします。

○長岡委員長 それでは、次第に従いまして議事を進めさせていただきますが、コロナ禍での会議ですし、時間も限られておりますので、委員の皆さんのご協力をお願いいたします。

本日は、報告事項が1件、議題が1件です。内容については関連がありますので、一括して事務局より説明をお願いします。

○事務局（美浜保健福祉センター所長 大塚） 美浜保健福祉センター所長の大塚と申します。よろしく願いいたします。

まず、第1回美浜区支え合いのまち推進協議会が急な書面開催となり、大変、申し訳ございませんでした。また、書面開催につきまして、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

それでは、私の方から第1回書面開催となった会議の承認事項に関する議案についての報告と、本日の議題であります、美浜区支え合いのまち推進計画（第5期美浜区地域福祉計画）の策定について、事務局にて作成しました区計画の原案に対し皆様からいただいたご意見と、それに対する本市や区の考え方、および修正した区計画案をご説明いたします。

す。

初めに、「資料1」をご覧ください。第1回書面会議での承認事項となっております。議題1「委員長、副委員長の選任について」、議題2「美浜区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成30年度～令和2年度）について」の承認状況をご報告させていただきます。

議題1「委員長、副委員長の選任」につきまして、本来は、各委員の互選により選出することとなっておりますが、ご承知のとおり、対面での開催ができなかったことから、事務局にて案を作成しご提示させていただきました。

各委員からご承認いただきまして、既にお伝えしておりますが、事務局案のとおり、委員長には長岡正明委員、副委員長には池田孝子委員へお願いすることとなりましたので改めてご報告いたします。

次の、議題2「美浜区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成30年度～令和2年度）」につきまして、こちらも各委員から事務局案への承認が得られましたので、ご報告いたします。

続きまして、資料2および資料3をご覧ください。資料2は、第1回書面会議での議題3「第5期美浜区支え合いのまち推進計画（原案）」に対する各委員からのご意見と、これに対する市・区の考え方をまとめたものとなっております。また、資料3は、これらのご意見等を基に修正した区計画の修正案となっております。

それでは、資料2にお戻りください。表の作りですが、左から、ご意見をいただいた委員のお名前、委員からのご意見の内容、それに対する市・区の考え方を委員の五十音順に掲載しております。なお、紙面の都合上「意見無し」等の具体的なご意見の記述がなかった方につきましては、掲載を省略させていただいておりますので、ご了承ください。

今回、いただいたご意見の全体的な傾向ですが、区計画原案の記述内容に具体的な修正を求めるとご意見は少なく、地域福祉計画全般に対するご意見、今後策定する予定の「具体的な取り組み」や「重点取組項目」に関するご意見等が多く寄せられております。

それでは、時間の都合もございまして、具体的な修正を求めるとご意見から順に、主なものをご説明させていただきます。なお、ご意見の内容によりまして、資料2と資料3の双方をご覧ください。

では、まず資料2の2ページ目をご覧ください。5番、小谷委員からの数値の訂正について、ご依頼がありました。こちらの数値の訂正部分ですが、資料3も合わせてご覧ください。資料3の2ページ目になりますが、(3)地域団体等の状況の表の部分が該当します。こちらの町内自治会数と避難所運営委員会数（指定避難所数）について、それぞれ数値の訂正依頼がございましたが、美浜区地域振興課へ確認したところ、表は、右上に記載のあるとおり、令和2年度末時点での数値であるため、令和3年4月1日より活動を開始している町内自治会につきましては、時点の関係で数値に参入していないとのことでした。また、避難所運営委員会数と指定避難所数は、指定避難所の場所ごとにカウントしていることから、例えば、2つの場所を一体的な避難場所として管理している運営委員会があった場合、本来の運営委員会数は1なのですが、避難場所ごとに運営委員会数がカウントされるため、現状では、2としてカウントされているとのこと。これらの状況を

鑑みまして、表の下段に、※2「避難所運営委員会数と指定避難所は、避難所の場所ごとにカウントしているため、実際の数と異なる場合がある」旨の注釈を加えました。

次に、資料2 3 ページ目 9 番、直井委員の意見です。こちらは、資料3 ですと 3 ページ、「(4) 区民意識に関するデータ」についてのご意見です。「249 名の回答数では、民意を反映しているとは言えず、参考とすべき。」とのご意見でした。美浜区の令和 2 年度末の人口は約 15 万人ですから、ご指摘のとおり人口に対して少ない回答数であるとの印象を受けてのご意見であると思います。こちらにつきましては、WEB アンケートによる回答数やサンプル調査による回答数のいずれも、統計的な考えから美浜区の人口規模ベースで 249 名からの回答数であれば、一定程度の信頼性は担保されているものと考えられますので「参考とする」等の表現は追記しておりません。

次に、資料2 の 4 ページ目 1 3 番、吉川委員の意見です。全体的に住民への負担が大きいに感じたというご意見です。

行政の役割の部分である公助の部分は、地域福祉計画の中で定めており、区計画は、地域福祉計画のうち、身近な地域での自助、共助の部分抜き出して定めているものであります。このことから、ご指摘のとおり地域の方々への負担感が大きいとの印象を受けることは、認識しております。ご意見を真摯に受け止めて、地域共生社会の実現に向け、行政と地域の住民との役割について、今後も検討を重ねてまいります。

また、具体的な活動につきましては、テーマごとにまとめて活動するのも良いのではとのご提案です。同じ活動をこの計画用、あちらの計画用と分ける必要はないと思われまますので、活動につきましては、ご提案のように地域の実情に応じて、様々な団体と協力、連携をしていただきながら活動できればと存じます。

担い手不足に関してのご提案ですが、教育（学校）方面での取り組みの推進につきましては、例えば、高齢者への支援として「認知症キッズサポーター養成講座」を区内小学校にご協力いただき開催している例もございます。

表彰制度につきましては、本市の表彰制度の一つに「地域社会貢献者・寄付行為者褒賞」もございりますが、さらなる取り組みや新たな表彰制度の導入につきましては、今後の検討課題として関係部局との調整に努めてまいります。

続きまして、資料2 の 3 ページ目、8 番遠山委員からのご意見ですが、こちらは 1 ページ目の 2 番伊藤委員からも同様なご意見が寄せられております。ご意見は、地域福祉計画全体を含めたご意見となっておりますので、併せてお答えしたいと思います。

まず、コロナ禍が一段落するまで活動を休止し、この計画に縛られない範囲で実施することにしてはとのご意見です。ご指摘のとおり、次期計画案では、基本目標と基本方針、施策の方向性を定め、具体的な取組項目や重点取組項目は、令和 5 年度の間見直しまでに策定を目指すこととし、それまでの間は、4 期までの取り組みを参考としつつ、出来ることを取り組むこととしております。

次に、地域福祉計画以外の計画と地域福祉計画全体との関連についてのご意見だと思われまますが、地域福祉計画は、社会福祉法により、地域における高齢者、障害者、児童などの福祉に関し、共通して取り組むべき事項などを掲載することとされており、非常に幅広い内容の計画となっております。

また、ここまで幅広い活動に対応すべき住民組織はないとのご意見ですが、ご指摘のとおり、ここまで幅広い活動に対応すべき住民組織はないということは承知しており、市全体を見ましても、地域運営委員会の設立が進んでいない状況でございます。

ですので、本市の地域福祉計画における地域の取り組みであります、区計画部分につきましては、地区部会エリアを圏域として、地区部会、自治会、民生委員・児童委員、青少年育成委員会、スポーツ振興会や老人クラブなど、様々な団体が関わりながら地域づくりを行う計画としております。

続いて、活動の評価に関するご意見です。地域の取り組みについては、区ごとに評価をしていただいておりますが、競い合わせるといった意図はまったくなく、自己評価をお願いするものであり、良い事例は他の地域での取り組みの参考にするなど計画の進捗確認や振り返りにご活用いただきたいという趣旨で、実施しております。

なお、次期計画におきましては、その趣旨を明記するとともに、S・A・B・Cといった表現を改めます。

次に、これらの議論は計画の当初、十分議論されたのかとのご意見ですが、第1期の地域福祉計画の策定時から、各区推進協議会や地域福祉専門分科会で議論してきたところではありますが、地域の皆様にまで浸透しきれていないという課題はあると認識しておりますので、引き続き検討してまいります。

その他、委員の皆様からは、担い手不足に関するご意見や、今後の取り組みに関するご意見等、様々なご意見をいただきました。詳細につきましては、資料2をご参照いただきたいと思います。

最後となりますが、事務局から計画原案の修正につきまして、提案させていただきます。提案部分は、資料3の1ページ目の計画タイトルの下の行に関する部分です。

原案では、「1 区の現状」と「タイトル」のあいだに、千葉市基本計画の素案において記載されていた「目指すべき区の姿」を引用しておりました。基本計画との理念や将来像と方向性を合わせるために、各区同様に掲載していたものですが、他区の推進協議会の委員から「内容に関連性がない」とのご指摘があったとの連絡が事務局にございました。そこで、事務局と地域福祉課において検討した結果、地域福祉計画の内容との関連は薄く、また、千葉市基本計画も令和5年度の策定を予定しており、素案段階での引用にはなじまないことから、今回は削除することとしたいと存じます。

美浜区支え合いのまち推進計画の策定について、各委員からのご意見と修正案の説明は以上でございます。

今後も様々なお立場からのご意見を承りつつ、修正が必要な場合は所要の修正を行う等、柔軟に対応してまいりたいと思っておりますので、ご承認の程、よろしく願いいたします。

○長岡委員長　ただいま、第1回書面開催の報告及び区計画の策定について、事務局から説明がありました。

何かご意見、ご質問等がありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

なお、発言される場合は、最初に所属とお名前をおっしゃってくださいますよう、よろ

しくお願いします。

どなたか、ご質問、ご意見はありませんか？

○久保田委員 第31地区美浜区町内自治会連絡協議会の久保田です。今回の区計画の原案についてですけど、具体的な取組内容は令和5年度改めて作っていくことだが、抽象的な内容となっているので、区計画に対して予算がどのようになっているのかとか、誰を対象としているのかなど、具体的なものが見えないので今後の見直しの中では、そういったことを工夫してほしいと思います。

○事務局（保健福祉局地域福祉課 佐藤主査） 区計画については、令和5年度の間見直し時点で具体的な取組み項目等を記載することとしているため、今回は、基本目標や基本的な施策の方向性等の抽象的な内容となっております。

なお、市計画では、年度ごとに具体的な数値目標を設けて策定を行うこととしています。

○信太委員 千葉市ボランティア協議会の信太です。区計画に対する予算の裏付けはどのようになっているのでしょうか。

○事務局（美浜保健福祉センター所長 大塚） 区計画は、各地域の皆様の自助、共助としての自主的な取組について定めていただいているものでございます。

本体の地域福祉計画の公助の部分については、本市行政の取り組みとして定めておりますが、区計画の部分につきましては、4期計画同様市の予算は付いておりません。

○長岡委員長 他に何かありますか。

○長岡委員長 あまり意見が出ないようなので、僭越ながら私の方からいくつか意見を述べさせていただきます。

まず、各委員からも意見が出ているとおり、区計画に対する予算の裏付けが欲しいということ。

それから、活動拠点の問題について、こどもの居場所づくりなどでも拠点確保が重要であることから、拠点確保に向けて行政に取り組んで欲しいと思います。

また、地域活動において、賃貸住宅に住む人が多く、自治会が組織されていない集合住宅が多い。地域では防災の面でも苦勞している。自治会は自主的な組織ではあるが地域に対して責任を持つ団体でもあり、その役割は大きい。どのように自治組織を作り、地域を活性化させていくのが課題であろうと思います。

以上、意見として述べました。

※全て意見としての発言であったため、事務局の回答はなし。

○長岡委員長 他に何かありますか。

○久保田委員 お金のことばかりで申し訳ないが、社協からの運営助成金が地区部会活動の主だった財源となっているが、元々は自分たちが支払った会費であるため、行政からもっと地域にお金を付けて欲しい。

○事務局（美浜保健福祉センター所長 大塚） 地域に対し、どのような支援をしているかについては、社協事務所と一緒に検討させていただきたいと思います。また、区の活性化や課題解決のため、庁内では区のあり方検討等を進めているところで、今後ご意見を頂戴しながら検討を重ねていきたいと思っています。

○池田副委員長 以前はふれあい食事サービスに市の補助が入っていたが、現在は廃止され、社協からの財源のみとなっているため、また復活して欲しい。

○事務局（社会福祉協議会美浜区事務所長 金澤） まずは、社会福祉協議会の活動について、地域の皆さまが積極的に関わりご尽力頂いていることにお礼を申し上げたい。

今後も千葉市社会福祉協議会としての活動が地域のみなさまにご賛同いただけるよう、地域の福祉活動やその支援を進めて参りたいと思いますので、引き続き美浜区の地域づくりへのご協力をお願いいたします。

○事務局（美浜保健福祉センター所長 大塚） 一度廃止になった予算については、相応の理由があると思われるため、復活させることは困難と思われます。しかし、再度予算化する場合には、当該事業に関する様々なデータなどを提供いただき、必要性を示す必要があるため、区も地域の方々と一緒に勉強しながら、本庁に要望できればと思います。

<小谷委員到着、小谷委員を改めて事務局より紹介>

○長岡委員長 せっかくなので、小谷委員から、他に何かありますか。

○小谷委員 計画案の中で「担い手不足」が触れられているが、どの地域でも同様の課題を抱えているかと思う。これについては、自分たちで新たな担い手を作り出していけるように努力していかなければならず、前向きな姿勢が大事なことだと思う。計画の内容については、良くまとめられていて問題ないと思う。

○長岡委員長 他に何かありますか。

無いようでしたら、区計画案については、この内容で承認ということよろしいですね？

< 反対意見無し >

では、区計画案については、承認といたします。

それでは、その他、何かありますか。

無いようでしたら、本日の議事は以上ですが、他に何かありますでしょうか。
事務局、いかがですか。

無いようでしたら、これからの進行は、事務局にお返しいたします。

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 鈴木） 長岡委員長、ありがとうございました。
本日の会議録は、事務局が作成し、委員長、副委員長にご確認いただきました後、千葉市のホームページで公開いたします。

なお、次回の会議の開催時期は、未定ですが、来年3月ごろを予定しております。
日時が決まり次第、ご連絡申し上げます。

これをもちまして、「令和3年度第2回美浜区支え合いのまち推進協議会」を終了させていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。

以上